

火田のなぞ

大田小学校 五年 佐々木 大輔

ぼくは、月に何日か、となりの町に住んで
いるおばあちゃんの家にとまりに行きます。

おばあちゃんの家のはすぐ横には、野菜をたく
さん育てている畑があります。ゆづくり、く

つろづうとしていても、おばあちゃんは、
「だいちちゃん、畑の草取りに行くよ。」

と言って、休ませてくれます。
ぼくが今まで手伝った畑仕事は、草取り、

水やり、肥料やり、野菜のしゅうかくなどで

す。草取りは、こしを曲げたり、しがんだ
りするので、とてもつかれます。夏、暑い日

の畑仕事もあせだくになります。こんな大変
な作業をたくさんするより、スーパーなどで

野菜を買った方がいいんじゃないかと、ぼく
は思いました。そこで、おばあちゃんに、

「どうして畑で野菜づくりをしているの。」
と聞いてみました。おばあちゃんは、

「畑をしていると、周りの人とかかありが

できるから、畑で野菜をつくることが、生きがいになっ
ているんだよ。

と教えてくれました。おばあちゃんは、ず

と前におじいちゃんになくなっ
てから、一人

で家に住んでいます。でも、畑仕事をしてい

ると、前の道を通りかかっ
た知り合いが、近

所の人などが、いろいろ声をかけてくれるそ

うです。野菜の育て方についてだけでなく、

世間話などもして、それが気分転かんになる

と言っ
ていました。育てた野菜をおたがいあ

げ合っ
たりして、つあがりができることもう

れしいそうです。おばあちゃん
の答えを聞い

て、畑仕事は、大変なだけであ
く、人とのつ

ながりをつくることもできるのだと思いまし

た。

そしてぼくは、とまりに行っ
たときに、畑

でとれたじゃがいもで、おばあちゃん
が作っ

てくれるフライドポテトが大好きで、よくリ

クエストしています。それと、学校で作った

ことがある。アキウリのつけもの
が、ぼく

のつく意味料理です。おばあちゃんの畑でとれた新せんあきゅうりを切って、だしのもとと塩をし、かりもみこんで、冷蔵庫ですと出来上がりです。たくさん作るときには、自分の家に持て帰って、家族みんなに食べてもらっています。

「おいしいね。」

と言、て食べてもらうと、とてもうれしい気持ちになります。

おばあちゃんの作った野菜を、これからたくさん食べたいで、おばあちゃんに、元気で長生きしてほしいと思います。とまりに行、たときは、みんどうくさがらず、いろんな畑仕事の手伝いをしようと思います。